

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○豊かなかかわり合いを大切に、一人ひとりが認められ磨かれる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的にしっかり学習に取り組み、得意分野を伸ばします。 ・かかわり合いながら自己の良さや他者の良さに気がつき、認め合い、多様性の中で高め合うようにします。 ・居心地の良い集団の中で、思いやりや自己有用感が持てるようにします。 ・保護者地域との連携を深め、学校・家庭・地域協働教育を進めます。 	

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力 (学習指導)</p> <p>担当 学習推進部</p>	<p>意欲を高める工夫をし、学習したことを活用し探求する姿勢を育てる。学び方を改善し総合的に理解を深めさせる。自信を得意分野につなげる。</p>	<p>①地域力を生かした体験的な学習を推進。各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動での問題解決的な学習の推進。</p> <p>②習熟度に応じた指導や教科担任制、交換授業等による専門性の高い授業を推進する。</p> <p>③どのように学び、どのようなことが出来るようになったのか、評価し、指導の改善を図る。</p>

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

全体的には、横浜市の平均を上回っている。学習の要素では、基礎的・基本的な知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力についても成果が見られる。

このことは、日々の授業改善により問題解決的な学習プロセスを大切にしてきた結果と考えられる。一方、学習や生活に対する意識が低い傾向がどの学

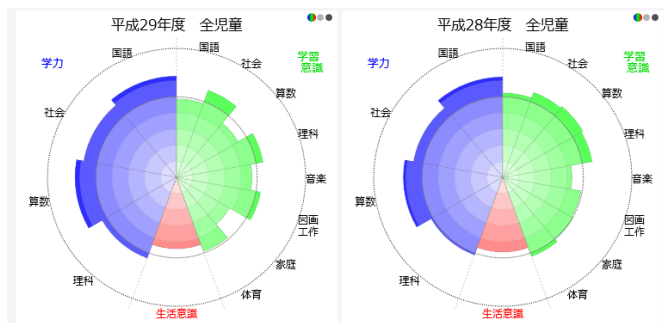
年にも顕著に見られた。確かな学力へと高めるために、主体的に学習に取り組む態度を身に付けていくことが課題だと言える。

(2) 教科学習の状況

- 国語科…相手やめあてに沿って分かりやすく話したり、書いたりすることに課題が見られる。
- 算数科…数学的な考え方、知識・理解、技能の全てにおいて高い学力が身につけている。
- 社会科…興味をもって学習し、疑問に思ったこと、考えたことを積極的に話し合っ解決している。
- 理科…他の教科に比べると、やや低いが、学習への関心や取組への意識は高まっている。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学校全体としての学力は、大きな変化はなく高い所で推移している。課題としては、国語、算数の学力が社会・理科に比べて高いが、学習の意識の面では反対に、国語・算数の学習意識が低く、社会、理科への意識の方が高い。また、生活意識の面では、進んで挨拶をすることや人の気持ちを考えた行動、学校のきまりを守ること等、引き続き学校全体での取組の必要性が感じられる。そこで、体験や活動を通して課題を見つけ、自ら解決方法を追求する問題解決的な学習のプロセスを一層大切にし、国語、算数で培われた基礎学力を生かして、思考したり、判断したり、表現したりすることの必然性をもたせるように横断的な学習へとつなげ、教科等の枠を超えて資質・能力を伸ばすことを大切にしていく。



3 平成30年度 目標と具体的方策

平成30年度 目標

豊かなかかわり合いの中で、学習したことを活用する体験的・問題解決的な学習を推進し、思考力・判断力・表現力を育てます。

(1) 学校組織としての共通の取組

○ 体験的活動・問題解決的なプロセスの充実

考えたことを整理し、根拠を示しながら表現する力の育成するために、活動や体験、問題解決的な過程を大切に授業を行い、自信と意欲をもって、主体的に学習に取り組めるようにする。

○ 自己有用感を育む豊かな関わり合い

道徳の時間を含む道徳教育を充実させるとともに、あいさつ運動、たてわり活動、特別活動で実践の場も設定する。それにより、自他を大切に、認め合いお互いのよさを活かした集団を育てていく。



(2) 学年・教科等としての取組

▼確かな学力の育成

- ・中学校へのスムーズな接続に向けて、高学年ブロックでの教科担任制の推進する。また、低・中学年では少人数授業、交換授業等柔軟な指導体制の確立を進める。
- ・より専門性の高い授業や個に応じた授業により、児童が得意分野をもてるようにする。外国語においても、専科担当を導入し、児童の興味・関心を高められるようにする。

▼主体的に取り組む姿を育む学習展開

- ・本校の行事や地域とのかかわりといった特色を生かした他教科との合科的、横断的な学習（総合的な学習の時間）の研究を進めながら、子どもたちがつくる授業をめざしていく。
- ・各教科において、授業改善や言語活動の充実を図りながら、新学習指導要領の編成を行っていく。